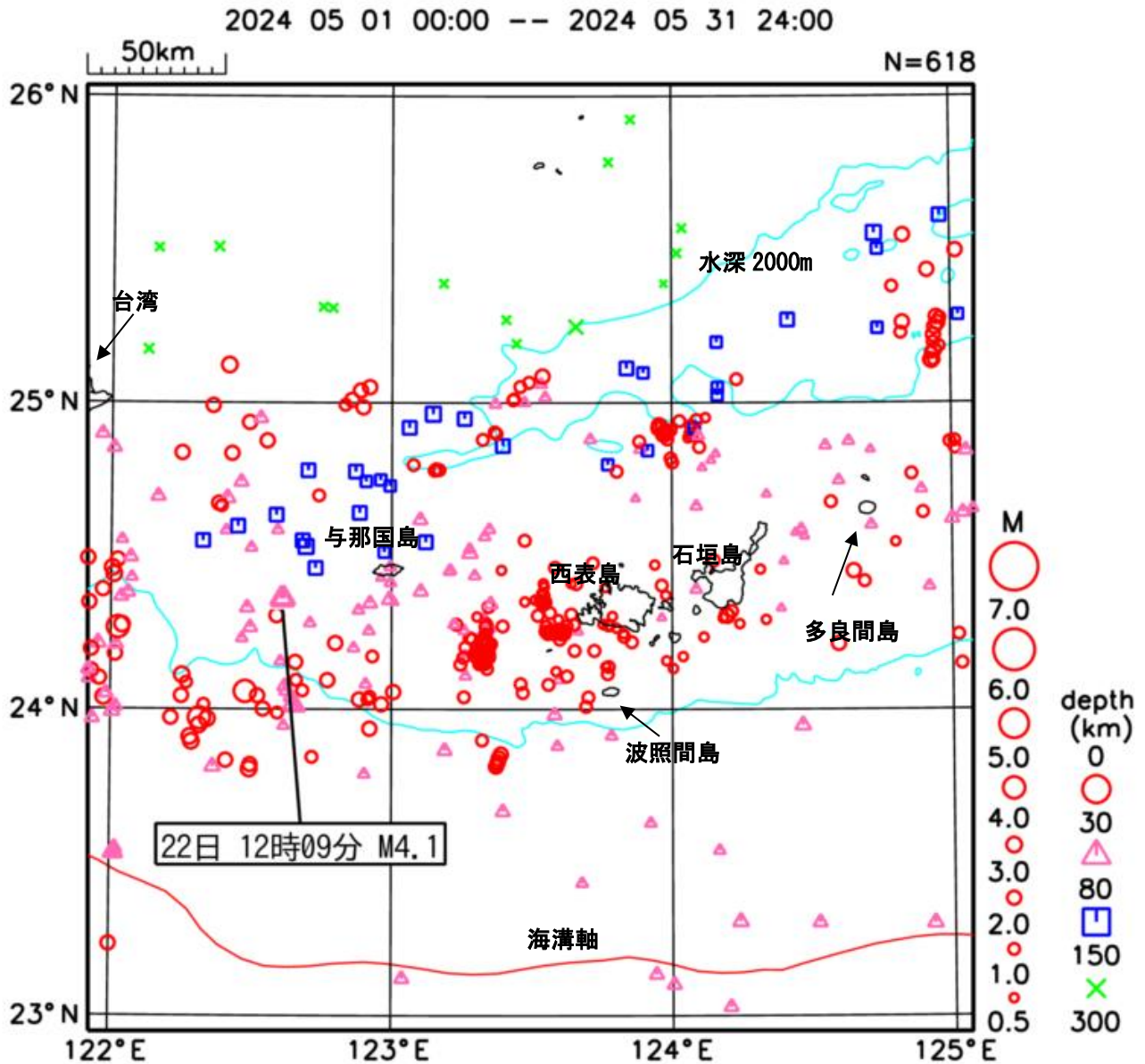


八重山地方の地震活動

令和6年(2024 年)5月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。
水深 2000mの海底等深線は海上保安庁による

【概況】

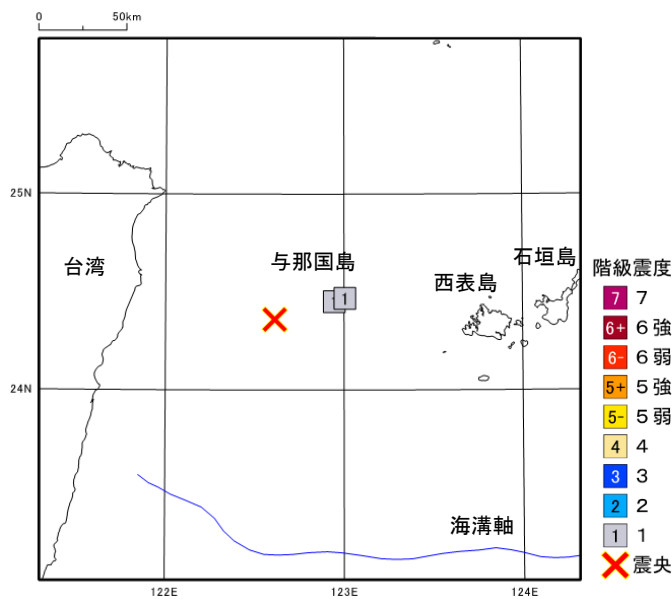
今期間 (5月)、震度1以上を観測した地震は1回でした (4月は7回)。

5月中、特に目立った活動はありませんでした。

10日16時45分に台湾付近の深さ13kmでM6.5の地震 (日本国内で震度1以上を観測した地点なし) が発生しました (別紙参照)。(図の範囲外)

この地震により気象庁は、16時52分に宮古島・八重山地方に津波予報 (若干の海面変動が予想されますが、被害の心配はありません) を発表しました。

[震度分布図]



5月22日12時09分 与那国島近海 深さ57km M4.1

八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：5月1日～31日）

震源時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
各地の震度					
2024年05月22日12時09分	与那国島近海	24°21.6' N	122°36.7' E	57km	M4.1
沖縄県	震度 1：与那国町久部良, 与那国町役場*				

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。

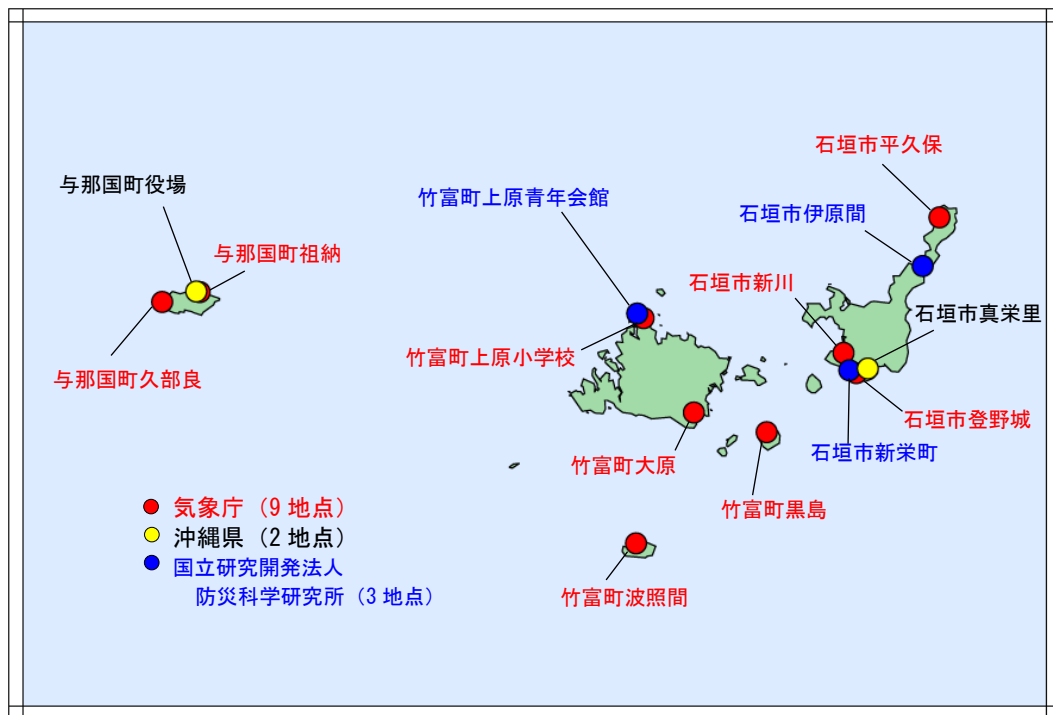
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方の震度観測地点



※過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

※震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」を
ご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2170

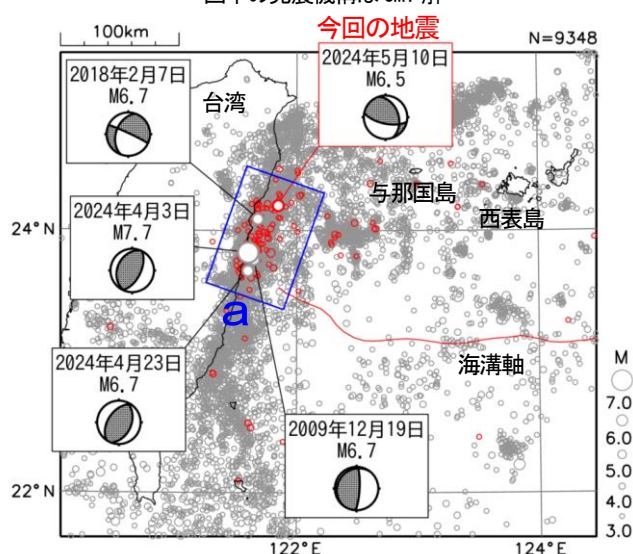
5月10日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2024年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2024年5月の地震を赤く表示

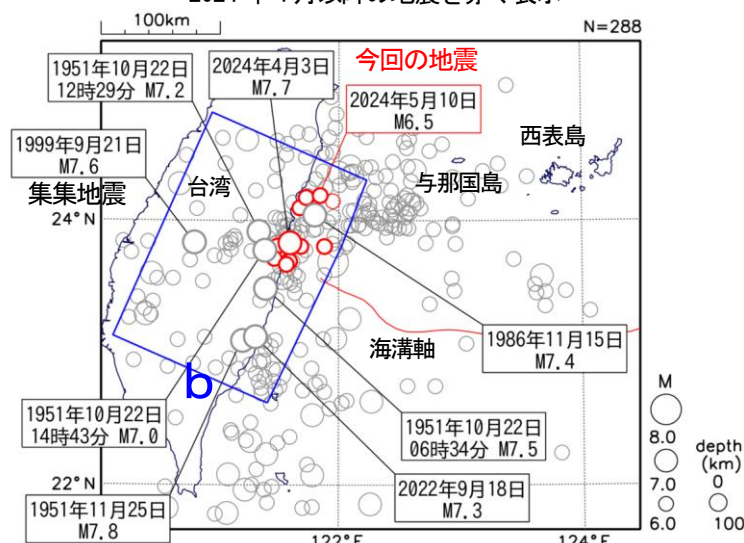
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

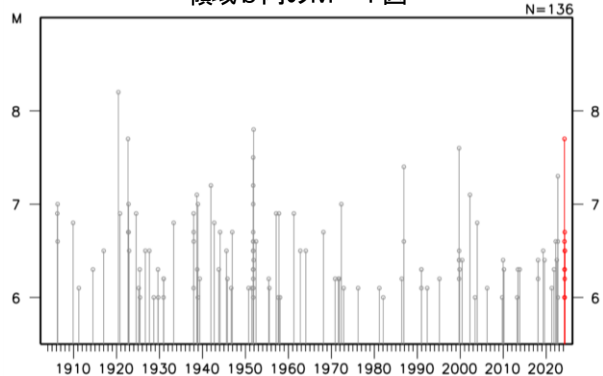
(1904年1月1日～2024年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2024年4月以降の地震を赤く表示



2018年までの震源要素はISC-GEM、2019年以降の地震の震源要素は気象庁による。

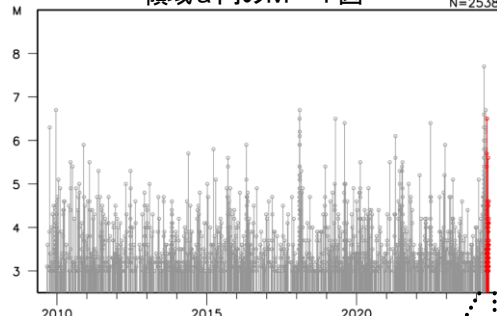
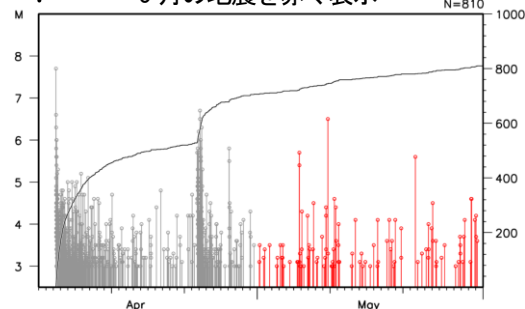
領域b内のM-T図



2024年5月10日16時45分に台湾付近の深さ13kmでM6.5の地震が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北東—南西方向に圧力軸を持つ型であった。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、2009年12月19日のM6.7の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）や、2018年2月7日のM6.7の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生するなど、M6.0以上の地震が時々発生している。また、2024年4月3日08時58分にM7.7の地震（国内で観測された最大の揺れは震度4）が発生するなど、地震活動が活発化している。

領域a内のM-T図

領域a内の回数積算+M-T図
(4月1日～5月31日)
5月の地震を赤く表示

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1951年10月から12月にかけてM7.0以上の地震が4回発生した。1986年11月15日にM7.4の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害があった。1999年9月21日に集集地震（M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害があった。また、2022年9月18日にM7.3の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度1）では、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表したが、津波は観測されなかった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。